

平成 27 年（2015 年）の富士山の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード 6.4 の地震以降、地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2015 年の発表履歴

2015 年中変更なし	噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)
-------------	-----------------------------

2015 年の活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1）
萩原遠望カメラ(富士山山頂の東南東約 18km)、中部地方整備局が朝霧(富士山山頂の西約 14km)及び富士砂防事務所(富士山山頂の南西約 17km)に設置しているカメラによる観測では、山頂部に噴気は認められません。
- ・地震や微動の発生状況（図 2～4、図 7、表 1）
2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード (M) 6.4 の地震以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震が増加しました。その後、地震活動は低下してきています。3 月 14 日に富士山頂直下を震源とする地震により富士宮市で震度 1 を、7 月 23 日に富士山頂の南 6 km 付近を震源とする地震により富士宮市と富士市で震度 1 を、7 月 28 日に富士山頂の東 6 km を震源とする地震により富士河口湖町で震度 1 を、10 月 8 日に富士山頂の南約 5 km 付近を震源とする地震により富士市で震度 1 を観測しました（震源はいずれも広域地震観測網による）。
深さ 15km 付近を震源とする深部低周波地震は少ない状況で経過しています。
火山性微動や浅部の低周波地震は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図 5、図 7）
GNSS^注連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

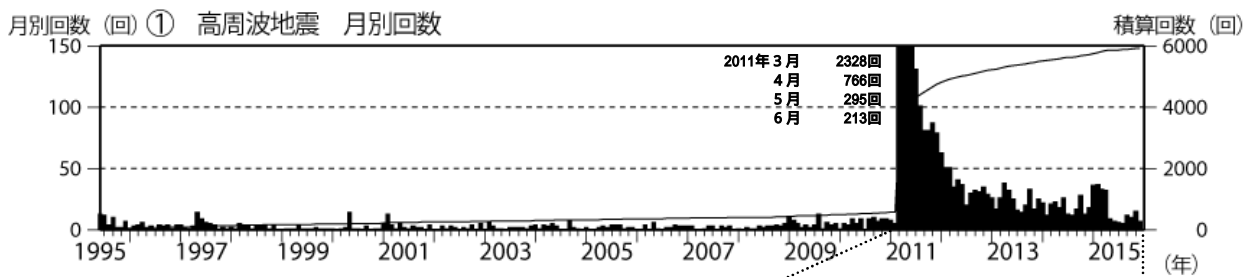
この資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、中部地方整備局、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、山梨県及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています (承認番号: 平 26 情使、第 578 号)。



図1 富士山 山頂部の状況
(12月20日 萩原遠望カメラによる)



計数基準
2011年3月23日～
(防) 富士第5 振幅 0.3 μm/s 以上、S-P 時間 3.0 秒以内
2011年3月22日まで
富士山頂振幅 0.5 μm/s 以上、S-P 時間 3.0 秒以内
(防): 国立研究開発法人防災科学技術研究所

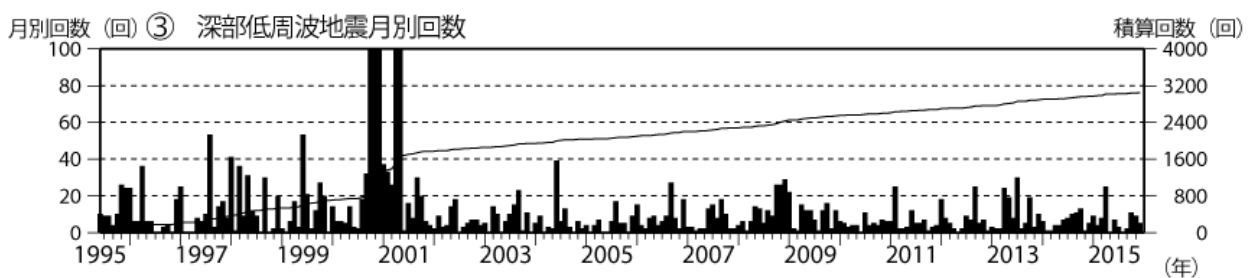
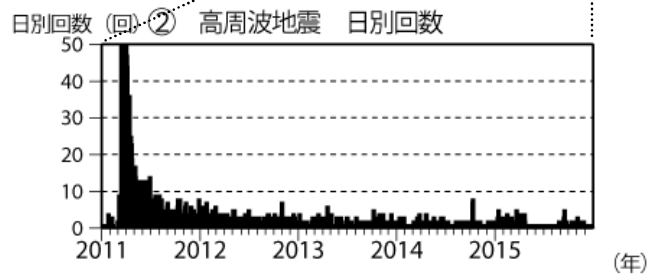


図2 富士山 月別及び日別地震回数 (1995年6月～2015年12月)

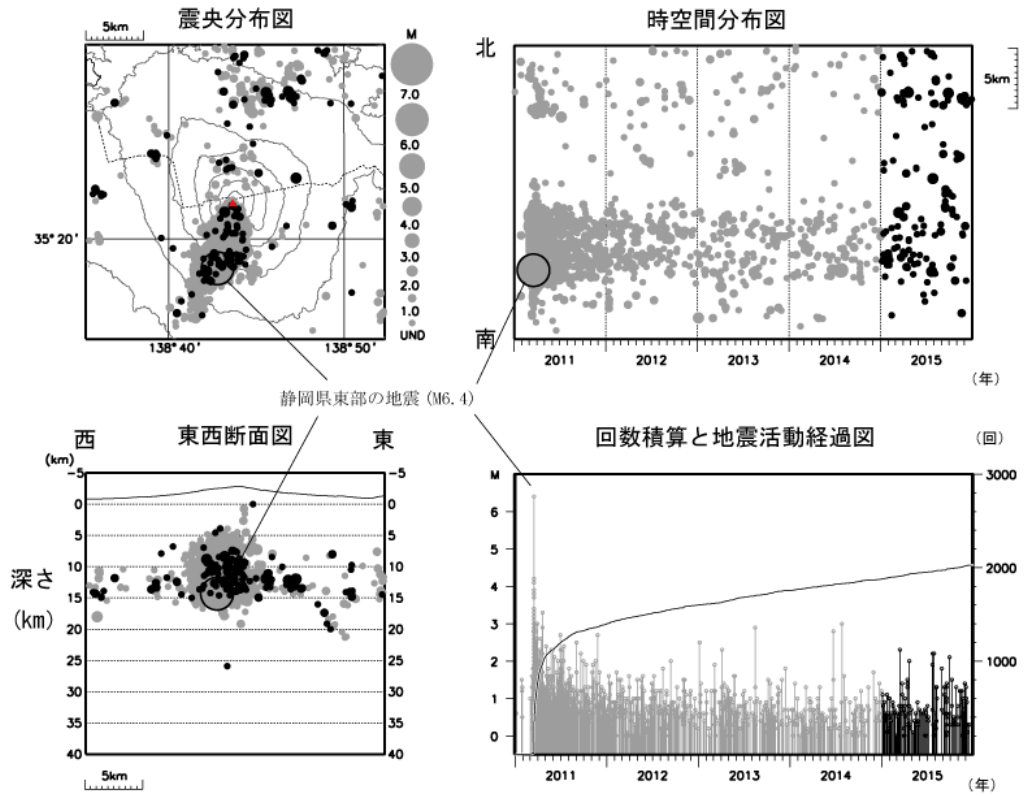


図 3 富士山 広域地震観測網による山体・周辺の高周波地震活動

： 2011 年 1 月 1 日 ~ 2014 年 12 月 31 日 × : 2015 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日

- ・ M (マグニチュード) は地震の規模を表します。
- ・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

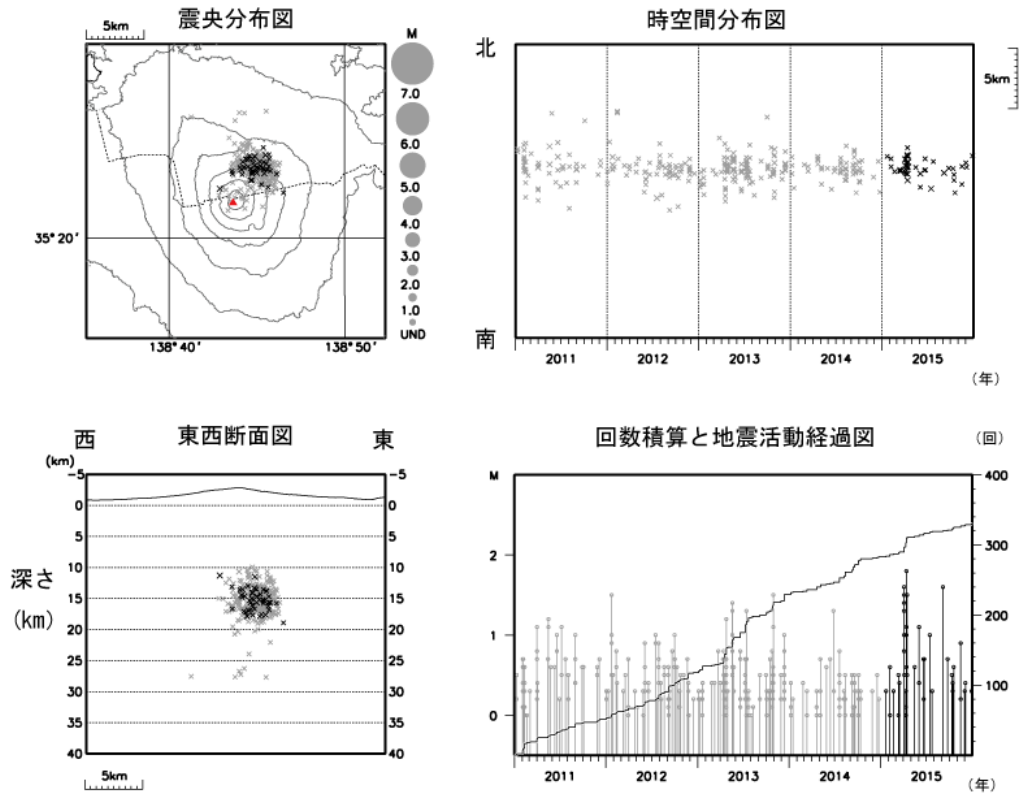


図 4 富士山 広域地震観測網による山体・周辺の深部低周波地震活動

× : 2011 年 1 月 1 日 ~ 2014 年 12 月 31 日 × : 2015 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日

- ・ M (マグニチュード) は地震の規模を表します。
- ・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

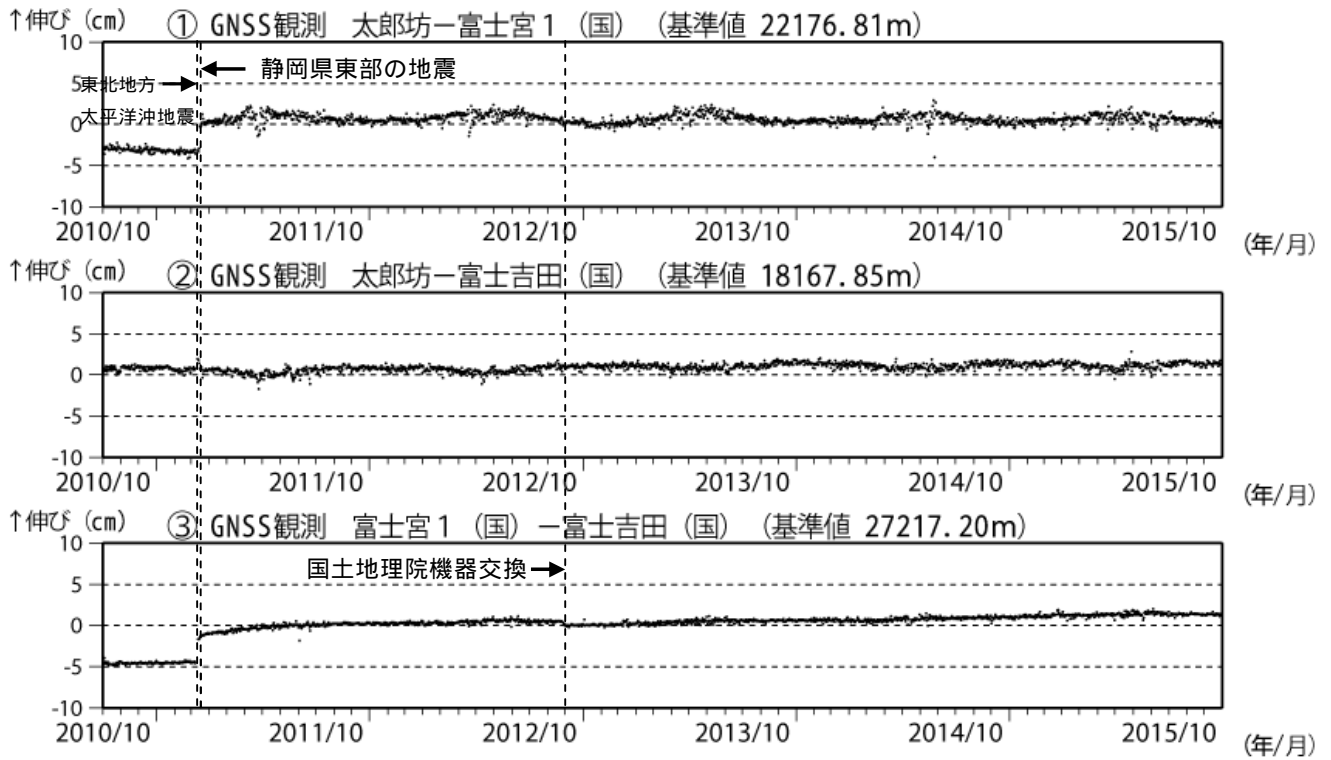


図5 富士山 GNSS連続観測による基線長変化 (2010年10月1日~2015年12月31日)

(国): 国土地理院

- ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震、及び2011年3月15日に発生した静岡県東部の地震の影響により、ステップ状の変化がみられます。
- ・ ~ は図7のGNSS基線 ~ に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。

表 1 富士山 2015 年の日別地震回数 (A:高周波地震 DL:深部低周波地震)

	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	A	DL	A	DL	A	DL	A	DL	A	DL	A	DL	A	DL	A	DL	A	DL	A	DL	A	DL	A	DL
1日	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
2日	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	2	0	1	0	3	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
4日	0	0	1	0	3	0	4	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
5日	1	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
6日	1	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	1	0	2	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
9日	2	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	2	1	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
12日	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	2	0	1	0	1	4	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	5	0	3	0	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
15日	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	5	1	0	0	0
16日	0	0	4	0	1	2	0	5	0	0	1	0	0	1	0	0	5	0	2	0	2	2	0	0
17日	0	0	4	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
18日	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
19日	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	1	0	0	1	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	2	7	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	5	0	2	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0
25日	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	6	1	0
26日	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
27日	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
28日	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	2	0	1	2	2
29日	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
30日	3	0			3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0			3	0			0	0			0	0	0	0			0	0			0	0
月合計	36	9	37	4	33	8	32	25	9	0	7	7	6	3	5	0	12	2	10	11	15	9	7	5
年合計	209	83																						

高周波地震
(10~20Hzが卓越する地震)



深部低周波地震
(深さ15km付近を震源とし、1~数Hzが卓越する地震)

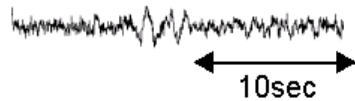


図 6 富士山 発生している地震の特徴と波形例

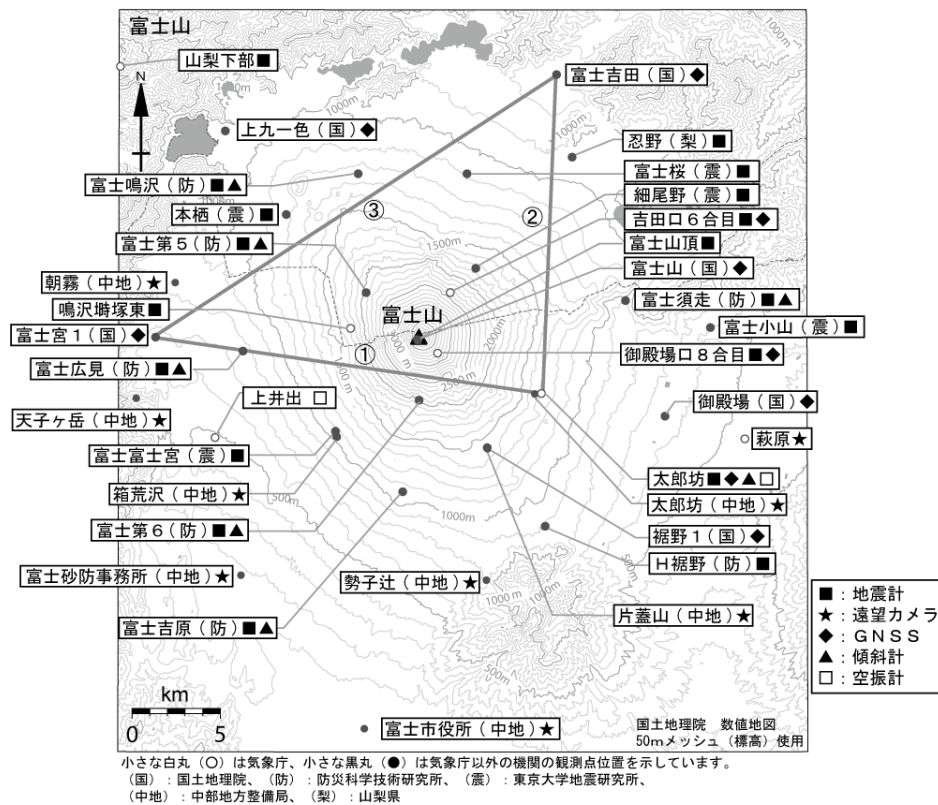


図 7 富士山 観測点配置図
 ・GNSS 基線 ~ は図 5 の ~ に対応しています。

表 2 富士山 気象庁の観測点一覧

測器種類	地点名	位置			設置高(m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高(m)			
地震計	富士山頂	35° 21.64′	138° 43.64′	3772	0	1987. 8.25	短周期 3成分
	御殿場口8合目	35° 21.24′	138° 44.38′	3235	-1	2002.10. 9	短周期 3成分 広帯域 3成分
	吉田口6合目	35° 23.11′	138° 44.85′	2403	-1	2013.11.1	短周期 3成分
	鳴沢峠塚東	35° 22.01′	138° 41.11′	1761	-1	2013.11.27	短周期 3成分
	太郎坊	35° 19.99′	138° 48.28′	1284	-61	2010.8.9	短周期 3成分
傾斜計	太郎坊	35° 20.0′	138° 48.3′	1284	-61	2011.4.1	
空振計	上井出	35° 18.6′	138° 36.1′	485	1	2009.8.4	
	太郎坊	35° 20.0′	138° 48.3′	1284	1	2010.8.9	
GNSS	太郎坊	35° 20.0′	138° 48.3′	1284	3	2010.10.1	2周波
	御殿場口8合目	35° 21.2′	138° 44.4′	3235	3	-	2周波
	吉田口6合目	35° 23.1′	138° 44.9′	2403	4	-	2周波
遠望カメラ	萩原	35° 18.6′	138° 55.9′	480		2010.4.1	高感度